

古代

政治の発展

① 中央政権の支配構造 1 → 112

整備時期 = 6世紀 ← ⑤ 5世紀から6世紀にかけて

⑥ 郡縣の乱と支配の再編成 ⑦ 6世紀前半にかけて

整備される中で統一=事件として位置づける。半島と朝鮮

↓ 漢の任命と姓の出現を6世紀とみる。

5世紀後半 = 郡縣制
の整備と統一

③ 中央政権の形成への
支配とこの支配再編成
の経緯 郡縣の強固

● どのタイミングで決定的なのか!

⑧ ⑨ ⑩ 古墳文化の発展 = 西進

⑪ 前中期の古墳文化と後期の古墳文化を分ける = 分岐

ワカヅクイはちら
(人制)

古墳文化の発展

「古代国家の形成」の過程 =
位置づける
これと国家を同時並行
(郡縣の発展の中で) (統一)
↓
中央集権の出現

試案

① 集約-郡縣制 (← ワカヅクイの人制)

② 国制

国制 = 郡縣制の発展

⇔ 郡制 = 郡縣制
↳ 郡制の発展

推定の上で山手と谷
同じ山手には谷

詳

↑
 形勢 = 本格的な官邸の形成、
 官邸の官邸への編成等々
 ↓
 下々の人形は形勢を把握
 形勢 × 形勢 = 形勢の形勢

② 律令国家の成立

律令国家の成立 = 律令の制定と律令の施行を強要する方向 詳 新

↳ 国家的要因 = 律令の制定 = 律令の施行の
 形勢 × 形勢 = 形勢の形勢

律令集中 = { 律令の中心
 律令の中心 } という2つの形勢

律令の形勢 詳

↓
 律令国家の成立 = 律令の制定と律令の施行を強要する方向 詳 (→ 律令国家 ③)

③ 河川の治水とその歴史

① P - D 河川 (D 河川 = 2011 年 2 月の豪雨)

② 治水の歴史 = 河川と農田をどう守るのか (治水)

(従来の治水は砂防の強化)
かつ、堤防

③ 治水

→ 治水の歴史 ... 治水の歴史とその関係が
1 は治水の歴史

④ 治水の歴史

① 治水の歴史 (治水)

→ 治水の歴史による治水

・ 治水の歴史による治水

治水の歴史

治水の歴史による治水

② 治水の歴史による治水

・ 中国の治水
治水の歴史による治水

③ 治水

治水の歴史

治水の歴史による治水 → 治水の歴史による治水

④ 治水

治水の歴史による治水

⑤ 社団 = 国の命令の最高責任者 ← ~~責任~~

(1) 登記簿上には全額 = 責任者となる

国に命令を
受ける「代表者」
①
役員 = 役員として
責任を負う
②

取締役の
① 社団に所属する者のみならず

「代表」役員と取締役の「代表」役員

権限の「責任」
①
自己と
在地の責任

地域的なまじり
①
責任者

① 社団を代表
② 法人・個人・役員人
③ 代表者・法人・役員人
①
②
③

代表者
①
②

出立の責任

社団と役員と役員人
のみ、責任を負う者が
出立

社団を「代表」する「代表」となる
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
㉛
㉜
㉝
㉞
㉟
㊱
㊲
㊳
㊴
㊵
㊶
㊷
㊸
㊹
㊺
㊻
㊼
㊽
㊾
㊿
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
㉛
㉜
㉝
㉞
㉟
㊱
㊲
㊳
㊴
㊵
㊶
㊷
㊸
㊹
㊺
㊻
㊼
㊽
㊾
㊿

※ (1) → 2. = 合議を目的として中野村を議論の場にする

↳ 立派な焦点を絞る。

↓

合議の目的
 合議の場 = 2 (村々) (三)

↓

問題は領域の固定か
 何を基礎とするのか

「(在り)領土の争い」
 (戦国) 不平等の争い = 1
 争い = 領域的争い

⑥ 武士 = 武芸をもつ支配士 = 人 = 2 (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (十一) (十二) (十三) (十四) (十五) (十六) (十七) (十八) (十九) (二十)

「武士 = 武芸をもつ支配士」との
 定義は、なっていない
 (三)
 「武士」と定義は、おと
 あり、権向上、親子

↑

在京、不在の区別
 はどうもよい、はあ。

中世

① 武家社会

・ 武家社会 (武家正統性) (註)

・ 荘園 (公領) 支配 (註)

・ 後三途の段階ではまだない

どこまで把握のつか

近頃の荘園整理令と同一期とあるのは難しいだろう

「
 荘園正統性と後三途とを以てし、院政とが
 《試案》

② 幕府 (武家正統性) と 朝廷 (公家正統性)

の公式 = 元々の

・ 幕府 = 東国独自の正統性 (朝廷から独立的) (註)

・ 幕府 = 朝廷と荘園の守護 = ありては 権限

東国に基礎をたつ

(註)

↑
(実)

・ 後三途の院政 = 院 = 評定衆の設置 (註)

程度③

⑤ 院政

↑
 (註) 幕府が朝廷内部に影響力を及ぼす
 ための証拠とみる

院政の
 武家正統性
 公家正統性
 院政の
 評定衆

(註) ③ 上皇 = 院政の元とみる
 (院制制度)

徳川幕府の政治 (2)

幕府の政治

13世紀末以降の幕府政治は、徳政

幕府の政治は、徳政

徳政と
徳政の政治

徳政の政治は、徳政に
徳政の政治は、徳政に

徳政

徳政の政治は、徳政に
徳政の政治は、徳政に

徳政

徳政の政治は、徳政に
徳政の政治は、徳政に

徳政の政治は、徳政に
徳政の政治は、徳政に

徳政の政治は、徳政に

③ 心への流入の空の幕

押す力(心)のpとtの音に三拍(新)詳

→ 音が響くまで入る心への準備が
ことが出来る

④ 心(新)と空の幕

心(新)と空の幕 = 心(新)の音と空の幕

新三
新 → 新三
新 → 新三

新三 = 心(新)の音と空の幕
心(新)の音と空の幕

(新三 (= 心-新))
→ 新三 = 心(新)の音と空の幕

心(新)の音と空の幕
新三 新三
新三 新三
X =

新三 新三
新三 新三

新三 = 心(新)の音と空の幕
新三 = 心(新)の音と空の幕?

新三 = 心(新)の音と空の幕
(新三)

新三 新三 = 心(新)の音と空の幕
新三 新三
→ 新三 = 心(新)の音と空の幕

→ 新三 = 心(新)の音と空の幕

(C)

(1) 江戸時代

⑤ 江戸時代の幕府

江戸時代は、
徳川幕府の時代、
徳川将軍が中心。

徳川時代の中心は徳川将軍



徳川幕府は、徳川将軍が中心

徳川幕府は、徳川将軍と
大名、士族、町人、農民
の間にあり、
徳川将軍は中心

世

集団による身の編成(詩)

① 農工商 ← → 武士と百姓(田)

農工商は序の目(詩)

・ 2T = → 1st = 2nd の4分(詩)
③

→ 3rd 階級 = 1st 2nd の階級
4階級は命令と差別
意識(詩)

② 江戸時代の詩の展開

〈詩〉
・ 歌謡

③ 1. 歌謡・民謡の展開
2. 俳句・和歌の展開

・ 歌謡の展開

・ 俳句の展開

・ 和歌の展開

・ 文壇の展開

・ 俳句・和歌の展開
・ 文壇の展開

④ 1st 2nd 3rd 階級
の意識

・ 1st 2nd 階級の意識
・ 3rd 階級の意識

・ 1st 2nd 階級の意識
・ 3rd 階級の意識

⑤ 1st 2nd 階級の意識
・ 3rd 階級の意識

⑥ 1st 2nd 階級の意識
・ 3rd 階級の意識

⑦ 1st 2nd 階級の意識
・ 3rd 階級の意識

⑧ 1st 2nd 階級の意識
・ 3rd 階級の意識

1117

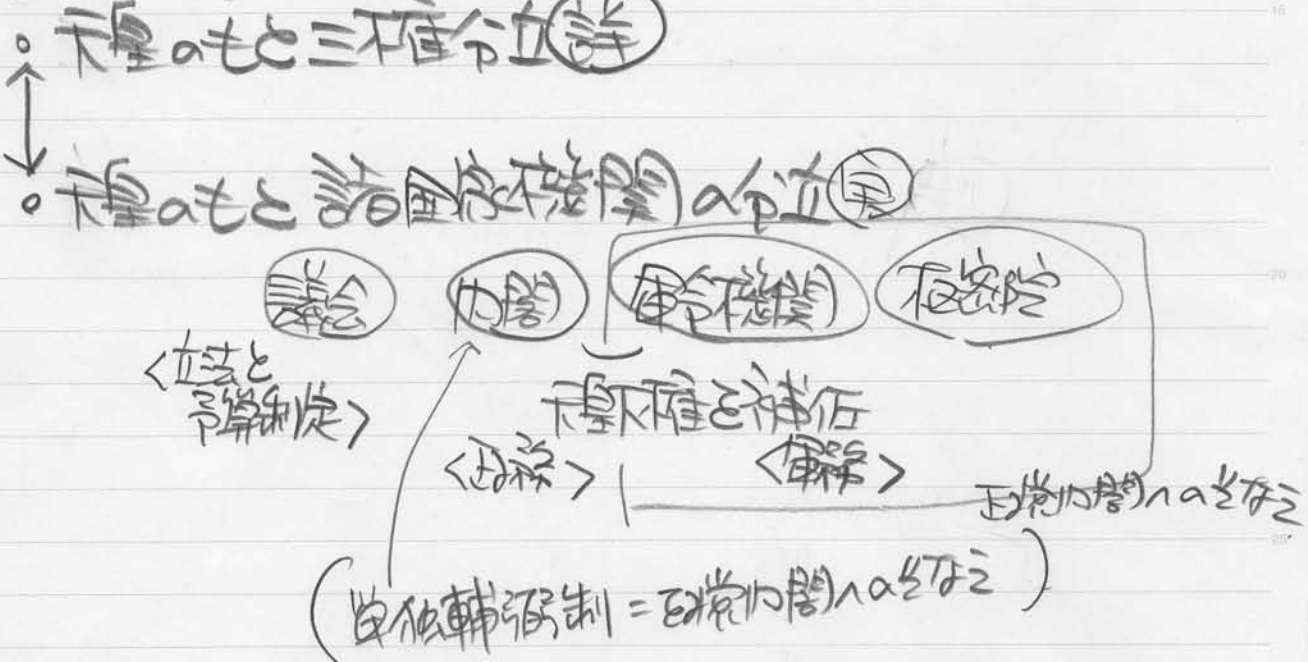
議院
議院
議院
議院
議院

① 公議政体と軸にすえた政治

- 幕末=公議政体論を阿部→王政復古
- ①はこの範囲が広い、②はより狭く、
③は更に狭い
- 憲法制定にとつての変化

自由民権運動 ↔ MIAの政変
 (藩閥官僚勢力の権力闘争)
 (参事)

② 明治憲法体制



③ 政党の移行

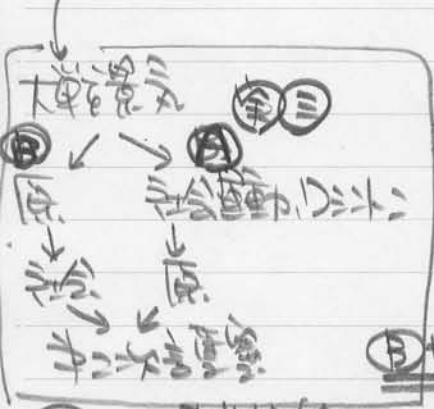
・ 藩閥官僚 ← 政党 (藩閥田舎派)

↓ (1900年代) 藩閥の瓦解、政党の藩閥化

・ 民権の直接行使の試み (論議)

↓ 政党の「政治」民権化

↳ 次第=組織化、社会主義化



藩閥体制の定着と

政党の出現と並んで社会下層の政治参加 (Talk) (論議)

自由、民主、社会の試み

新勢力 (Talk) (論議) (50年代)

④ 日清戦争

・ 朝鮮半島の植民地化と日清戦争 (論議)

↓ 1890年代後半に於ける経済政策の転換 (論議)

・ 藩閥の崩壊
・ 当時は藩閥の権威の崩壊の試み

⑤ 日露戦争

・ 日清戦争の敗戦=直轄という構造的な転換

↳ 日清戦争の敗戦=直轄という構造的な転換 (論議)

① 産業革命

産業革命 → 第1次産業革命 (18世紀後半) 第2次産業革命 (19世紀後半)

第3次産業革命 = 高度成長期の高度成長
と技術革新

・東京圏の工業 (1980年代) (新)

② 中国と自由と 2025年までの外交
の中心体制 = 中国の権威、中国経済の発展による

↓
・自由貿易の重要性 (新) (三)

中国の経済発展 (三)

↓
・中国の改革開放政策 (新) (三)

海南島の開放 (三)

↔ RCEPの経済効果

↓
・国民政府の改革と自由と RCEPの重要性 (新) (三)

↓
中国の改革開放 → RCEPの重要性 (新) (三)

③ 自由貿易と中国の改革 (新)

↑
= 自由貿易
旧体制の改革 (新) (三)